

宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和5年1月23日(月)
文責 校長 村田 浩彦

☆☆☆☆今年もどうぞ宜しくお願いいたします☆☆☆☆

令和5年(2023年)及び令和4年度の第3学期が始まりました。昨年は、本校教育活動に対して、保護者の皆様そして地域の皆様には大変お世話になりました。

新型コロナウイルス感染症が流行して丸3年が経ちましたが、この間子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、学校生活にも様々な変化をもたらしています。子どもたち同士の間での交流の場が制限されたり、校外活動を自粛したりするなどして、子どもたちの大切な経験の場が減少しました。一方で、一人一台端末 Chromebook や電子黒板、デジタル教科書などの教室の ICT を活用した学習環境は充実したものとなりました。今後も、ICT を活用した学習環境は継続されますので、これらを活用した授業等の工夫を進め、子どもたちに必要な力をしっかりと身に付けさせたいと思います。

令和7年度に統合小学校が開校しますので、宝達小学校としてはあと2年少しとなります。子どもたちには、各教科等の学力のほか、英語・プログラミングなどの力を付けさせるとともに、アサギマダラマーキング活動や宝達葛体験など宝達小学校でしか体験できない活動をとおして、地域を愛する気持ちも育てていきたいと思っています。

宝達っ子のために、今年もご支援ご協力を賜りますようお願い致します。

村田 浩彦



<3年宝達葛会館の見学>

☆☆☆☆社会の変化に対応して☆☆☆☆☆☆☆☆

成年年齢を20歳から18歳に引き下げることを内容とする民法改正が平成30年に行われ、令和4年4月1日から施行されました。4月1日時点で18歳、19歳の方は成人に、4月1日以降に18歳になる方も、18歳の誕生日から成人となりました。

1月9日は成人の日でしたが、「成人式」はこれまでどおり20歳を対象に行う自治体が多かったようです。18歳や19歳は進学や就職に近い人がおり、本人の参加が難しかったり、親の負担が大きかったりするという理由からのようです。

成年年齢の引き下げは、選挙権年齢や国民投票の投票権年齢を18歳とするなどの政策により、若者が政治の重要な判断に参加するようになりましたので、民法上も18歳以上を大人として扱うようにしたということのようです。

地球温暖化や地域紛争など世界的規模で深刻な問題が起きており、そのような環境問題や国際問題、国の政治などに対して考えをもち判断する力が大切になってきています。子どもたちに聞かれたときに、教師として親としてしっかりと物事の見方や考え方を説明したいものです。



<お願い> 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力願います。引き続き、お子様の登校前の検温および体温入力をお願いいたします。(インフルエンザやノロウイルス等にも注意してください。)